

少なくとも今後20年先の日本社会をイメージし、歯科医院づくりを行う必要があるが、そのためには歯科界だけでなく、私たちを取り巻く社会情勢の理解が求められる。病を通して人を見て、人を通して家族を見て、家族を通して地域社会を見る。そして地域社会を通して日本の社会にまで思考を巡らす目を、歯科医療従事者としてもっていただけるようになれば幸いである。



著者から



疾病中心ではなく健康中心に、治療中心ではなくメンテナンス中心に。本書は患者さんの口腔健康を本気で守りたい歯科医師、歯科衛生士必読の“生きたペリオドントロジー”です！ 築山鉄平



日本の歯科医師と歯科衛生士に贈るグローバルスタンダードなペリオドントロジーを学ぶための必読書です。 宮本貴成

Recommended



Michael K. McGuire

AAP 元会長の Michael K. McGuire 氏らによる推薦の言葉

本書は、歯周病病因論の明確な解説に基づいた「パーソナライズドペリオメンテナンス」という他に類を見ないコンセプトを特徴としています。歯周病の診断やマネジメントを熱心に理解したいと思う歯科医師/歯科衛生士チームにとってふさわしいものであるといえるでしょう。



E. Todd Scheyer

きりとり線

注文書

GP と DH のためのペリオドントロジー

モリタ商品コード:208040106

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

2018-04

the Quintessence
人気連載が
待望の書籍化!

GP と DH がペリオを
学ぶための決定版!



新進気鋭の築山鉄平・宮本貴成が贈る!



歯周病病因論に関する膨大なエビデンスに基づき、歯科医院として患者の口腔の健康を生涯維持するためのノウハウを網羅。バイオフィームへの対抗策、ペリオのリスクファクター、歯周炎と全身疾患の関係性、パーソナライズド歯周治療・メンテナンス、魅力的な歯科医院の創造までを多数のイラストと写真で解説した、新しいタイプのテキストブック。正しい予防歯周治療・メンテナンスを実践したいすべての歯科医師・歯科衛生士必読!

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●232ページ ●定価 本体13,000円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

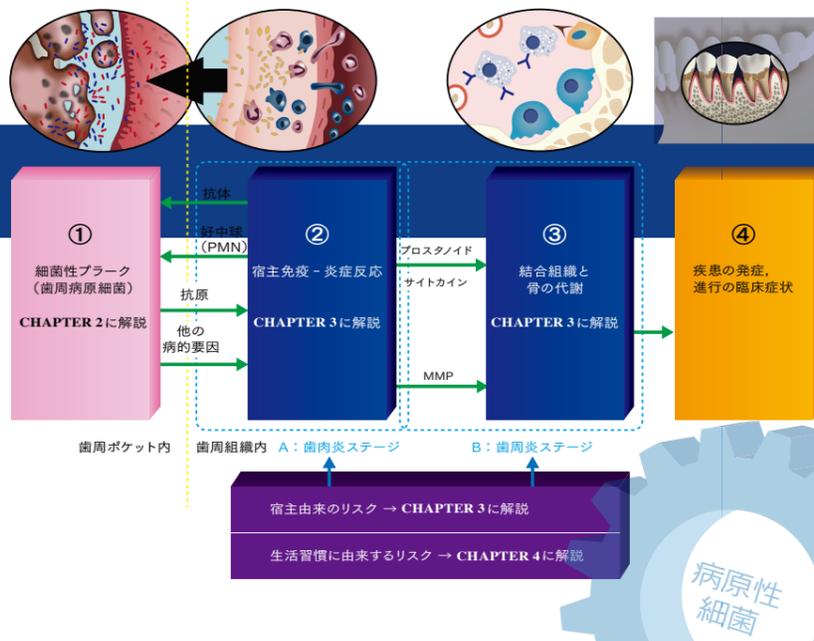
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 http://www.quint-j.co.jp/ e-mail mb@quint-j.co.jp



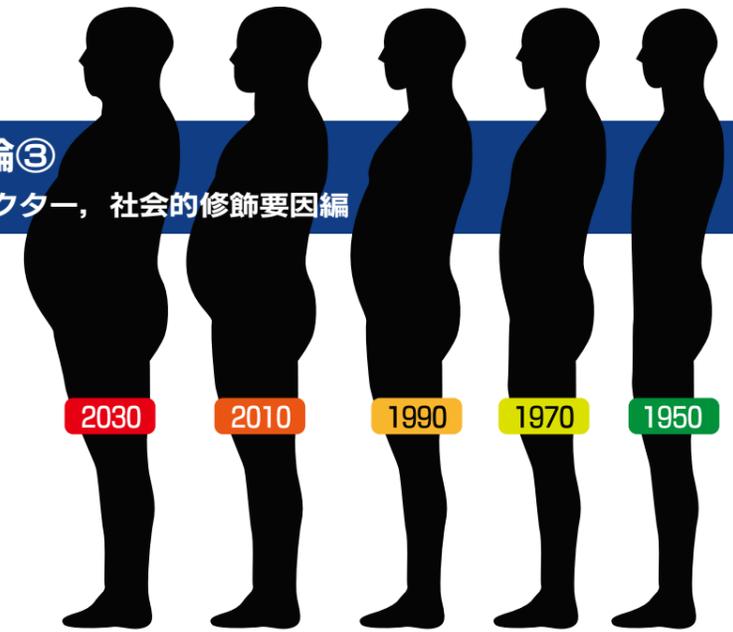
CHAPTER 1 歯周病病因論の全体像

歯周病の病因論は記憶するというより、全体像を頭の中でイメージすることが重要である。リスクギアモデルの全体像をイメージすることで、メンテナンス来院患者の細かい変化を見逃さないことが可能になる。私たちは一見同じように見える歯周病の所見から、患者固有のリスクを見抜く役割を果たさなければならない。それにより「早期発見、早期治療」から「早期診断、早期管理」のレベルにステップアップしよう。



CHAPTER 4 理解しておきたい病因論③ 生活習慣に由来するリスクファクター、社会的修飾要因編

生活習慣に関する歯周病のリスクファクターは、生活のなかで変化する。メンテナンスを通じた人生の時間の流れのなかで変化する個人レベルの要因、家族レベルの要因、社会レベルの要因を分析・理解して、そのメリット・デメリットを反映するような歯科医院づくりをしよう。



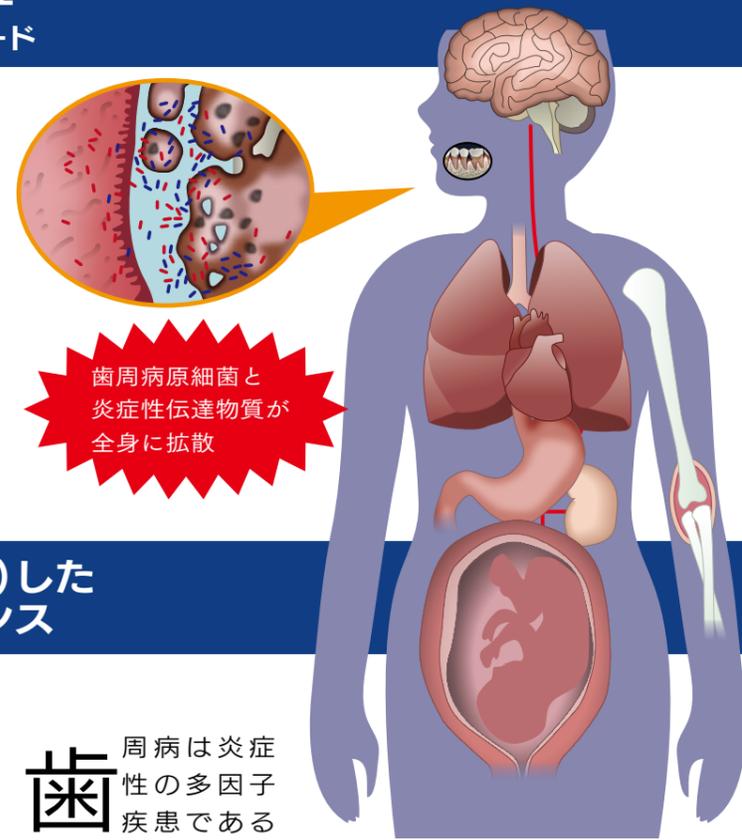
CHAPTER 2 理解しておきたい病因論① バイオフィーム、歯周病原細菌、局所的なプラークリテンティブファクター編

リスクアセスメントギアモデルの最初のギアに位置するプラークリテンティブファクターを理解しよう。メンテナンス時には患者固有のリスク部位のバイオフィームを除去し、リスク部位のセルフケア指導を中心に行おう。現在の歯周病原細菌に対する考え方は「ディスバイオシス」という仮説が提唱されている。



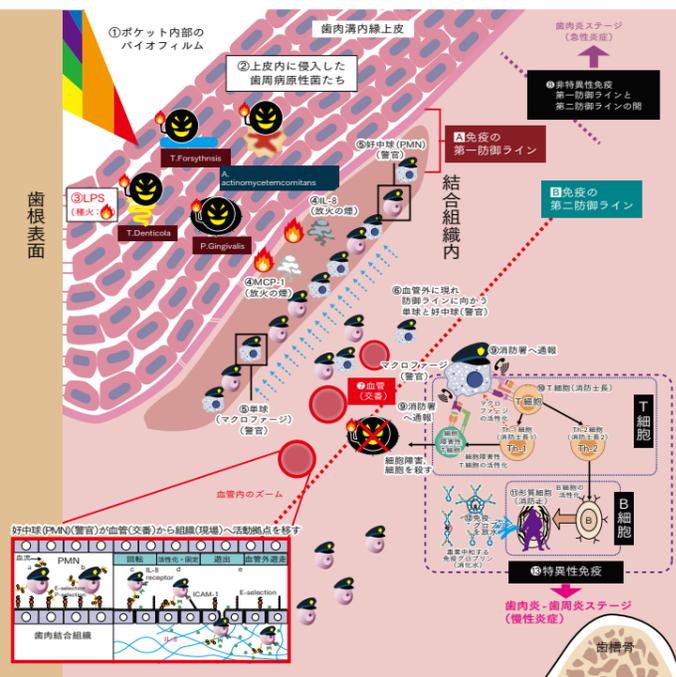
CHAPTER 5 歯周病と全身疾患の関連性 2者をつなぐ“炎症”というキーワード

炎症という切り口で見ると、歯周病は立派な全身疾患の1つである。同じ体内でも遠隔部位に存在している歯周病とそれぞれの疾患が、どのようなメカニズムで影響を及ぼしあっているのかを理解しておきたい。長期にわたる口腔健康管理だけでなく、全身状態も適切にモニタリングし、生活習慣病の早期発見・早期管理が必要である。

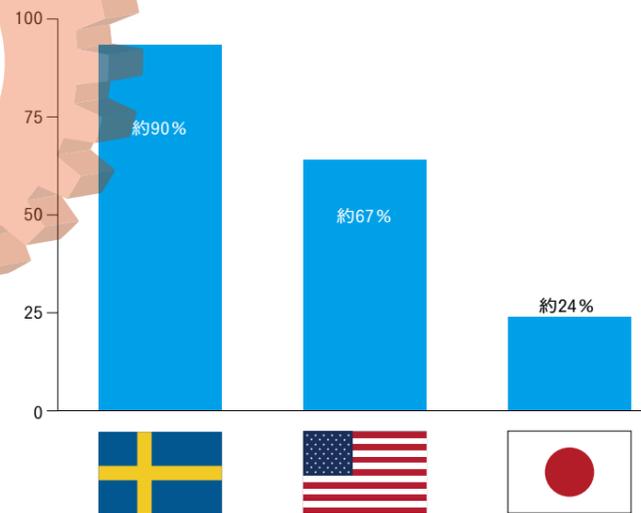


CHAPTER 3 理解しておきたい病因論② 基本的な免疫・炎症反応、宿主由来のリスクファクター編

細菌攻撃の先の宿主反応には幅があり、この幅は宿主要因のリスクファクターと生活習慣要因のリスクファクターによって第一に決定される。このチャプターでは、ギアモデルのなかでも宿主要因に関するリスクファクターをまとめた。メンテナンスを通じて患者の全身まで気を配れるようになる。



CHAPTER 6 パーソナライズド (個別化) した歯周病治療とメンテナンス



歯周病は炎症性の多因子疾患であるため、あらゆる方向からのアプローチが不可欠である。どの因子がリスクの重みを占めているかを歯科医療側、患者側が理解するために、双方にとって理解しやすいリスクアセスメントツールを利用することが好ましい。また、テイラーメイドの歯周病治療、メンテナンス療法を実践するために、歯周病病因論を正しく簡潔に理解することが求められる。

